

令和5年度 おおずしのよさん



行政が法律に基づき作成する予算書は、聞きなれない言葉や数字が並んでいて、わかりにくいものになっています。そのため、市で行う事業や財政状況について、写真や表、グラフを使いながら、少しでもわかりやすくお知らせするために「おおずしのよさん」を作成しました。

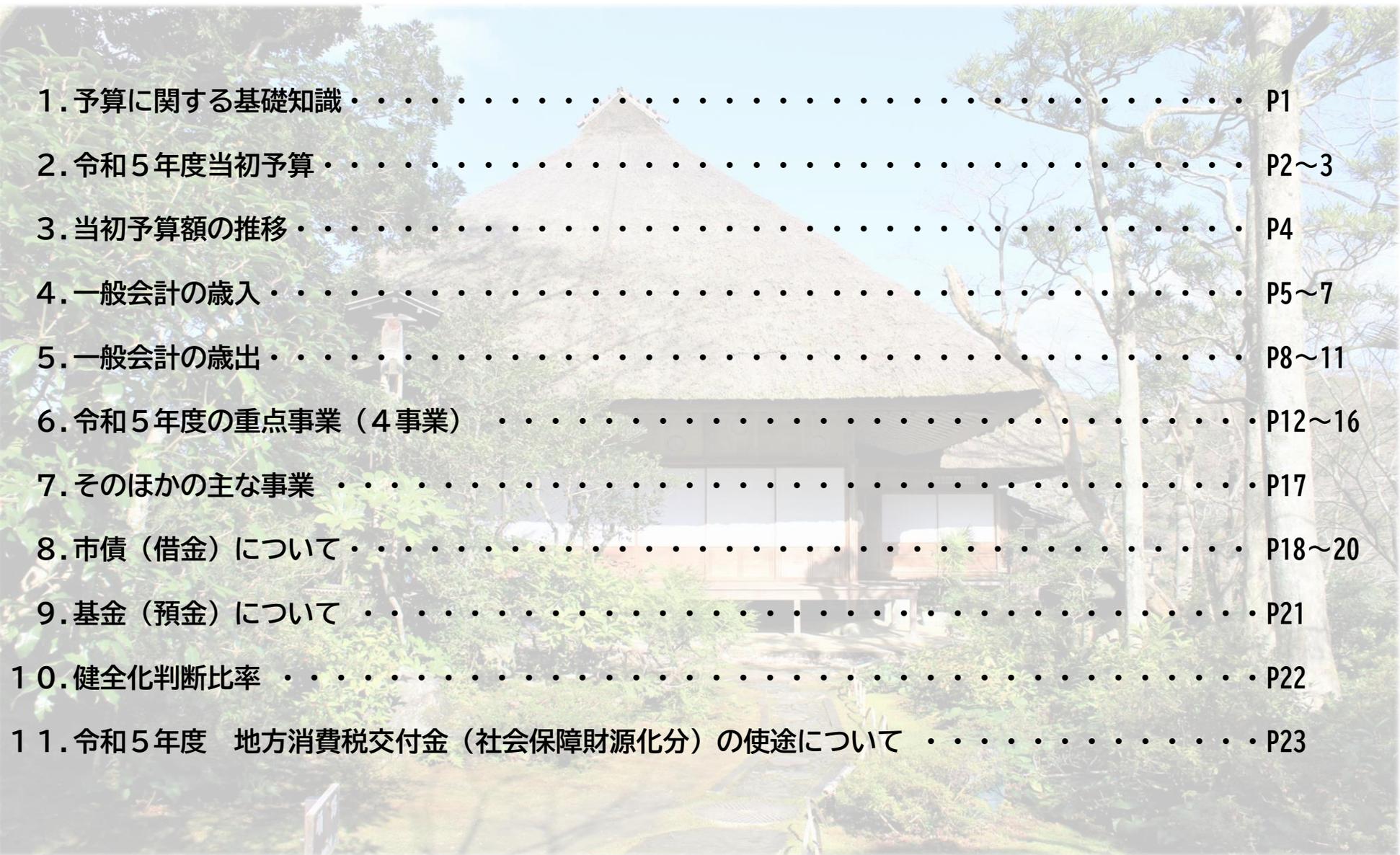
令和5年度は、SDGsを推進し、市民が健康で心豊かに、将来世代も安心して暮らすことができ、誰もが幸せを実感できる「Well-being(ウェルビーイング)なまち」を目指す取組を加速させるために、デジタル技術も活用した「共創(コ・クリエーション)」の理念のもとに地域課題の解決に取り組んでいくための予算を編成しました。

具体的には、平成30年豪雨災害からの復興と肱川治水対策を最優先課題として取り組むほか、「DXの推進」「健康づくりと健康寿命の推進」「子育て支援・少子化対策」「肱川の治水対策と肱川を活用したまちづくり」の4つの事業を重点事業として位置づけました。

一方で、財政健全化の状況は、平成17年の市町村合併直後に比べると大きく改善していますが、人口減少、超高齢社会が進行するなかで、環境センターの更新や市民文化会館建設などの大規模事業や公共施設の老朽化対策などが控えていることから、将来の財政負担増加が見込まれています。

今後も、多様化する地域のニーズを把握しながら、事務事業の見直しと効率化に取り組み、将来にわたり持続可能な行財政運営と市民福祉の向上に努めてまいります。

この「おおずしのよさん」によって、より多くのおみなさんに大洲市の予算や取組について、少しでも身近に感じていただき、市民のおみなさんと力を合わせて、だれもが幸せを実感できる「ウェルビーイングなまち」をつくるための架け橋となれば幸いです。



1. 予算に関する基礎知識	P1
2. 令和5年度当初予算	P2~3
3. 当初予算額の推移	P4
4. 一般会計の歳入	P5~7
5. 一般会計の歳出	P8~11
6. 令和5年度の重点事業（4事業）	P12~16
7. そのほかの主な事業	P17
8. 市債（借金）について	P18~20
9. 基金（預金）について	P21
10. 健全化判断比率	P22
11. 令和5年度 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について	P23

1. 予算に関する基礎知識

Q. そもそも予算ってなに？

A. 予算とは1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのための支出（使うお金）がどのくらい必要になるのかを見積もります。これを「当初予算」といいます。これらの内容を一覧表にまとめたものが予算書です。

なお、行政の予算では、収入を「歳入」、支出を「歳出」といいます。



Q. どのような仕組みで予算を決めているの？

A. 市長が予算案を作成し、市議会での審議を経たのち議決によって成立します。

市役所には、福祉や農林水産業、建設、商工、教育などの目的に沿った施策を実施している様々な部署があります。各部署において、市民のみなさまからの要望や意見を聞き、必要な行政サービスを検討します。その後、市役所内で協議・検討を重ねたうえで市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市議会では、提出された予算案について、事業内容や費用など様々な面から審議を行います。そして、市議会の議決を受けてはじめて予算が決定されます。



Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。

当初予算作成時には予測できなかったこと（例えば、台風や豪雨などの自然災害、物価高騰など）に対応するためにお金を使う場合には、予算を変更したり追加したりする必要があります。このような予算を補正予算といいます。補正予算についても、当初予算と同じように市議会へ提出し、審議・議決を受けて決定されます。



2. 令和5年度当初予算 (1) 予算規模と総額

Q. 大洲市の令和5年度の予算規模は？

A. 一般会計、特別会計、公営企業会計があり、その内訳は円グラフのとおりです。
 全会計の総額は、499億2,892万6千円となっています。



公営企業会計

民間企業と同じように、事業収益によって運営する会計です。大洲市には水道、工業用水道、下水道、病院の4つの公営企業会計があります。

【公営企業会計の予算内訳】

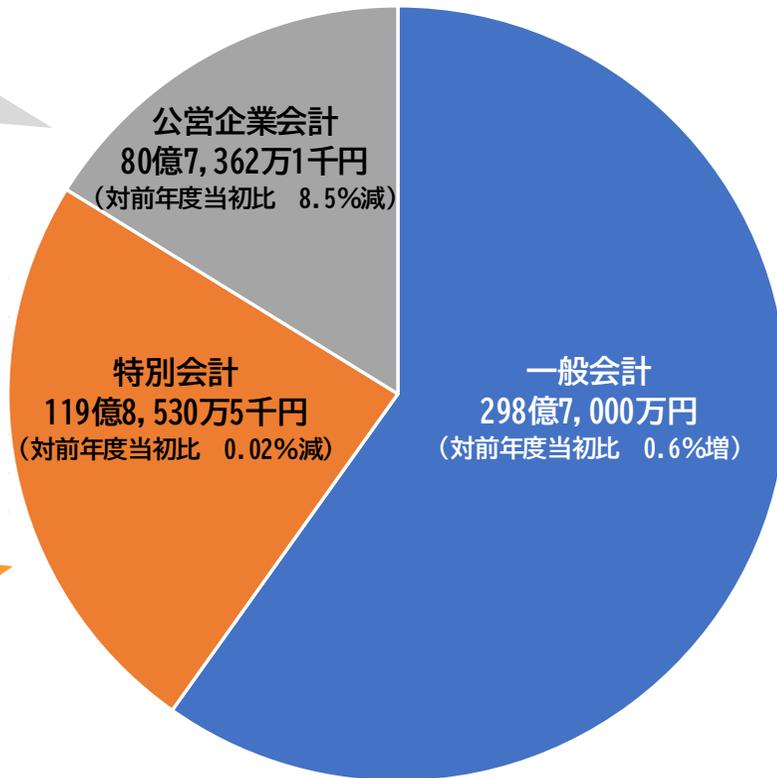
水道	2,377,681千円
工業用水道	34,647千円
下水道	1,607,188千円
病院	4,054,105千円

特別会計

特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。大洲市には9つの特別会計があります。

【特別会計の予算内訳】

国民健康保険	5,322,999千円	飲料水供給事業	34,485千円	
国民健康保険診療所	109,005千円	港湾施設事業	10,211千円	
後期高齢者医療	725,672千円	土地取得造成	201千円	
介護保険	介護保険事業勘定	5,697,555千円	農業集落排水事業	31,847千円
	介護サービス事業勘定	38,313千円	温泉事業	15,017千円



一般会計

福祉、医療、教育や、道路・公園の整備など基礎的な行政サービスを行う会計で、市民のみなさまに納めていただいた市税は主にこの一般会計に使われています。

2. 令和5年度当初予算 (2) 会計別の内訳と前年度との比較



令和4年度との比較では、一般会計が1億7,000万円増、特別会計は227万9千円減、企業会計は7億4,914万6千円減となっています。

(単位：千円、%)

会計別	令和5年度		令和4年度		増減額 (A) - (B)	増減率		
	当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比				
一般会計 (a)	29,870,000	59.8	29,700,000	58.8	170,000	0.6		
特別会計	国民健康保険	5,322,999	10.7	5,376,432	10.6	△53,433	△ 1.0	
	国民健康保険診療所	109,005	0.2	109,662	0.2	△657	△ 0.6	
	後期高齢者医療	725,672	1.4	732,314	1.5	△6,642	△ 0.9	
	介護保険	介護保険事業勘定	5,697,555	11.4	5,653,675	11.2	43,880	0.8
		介護サービス事業勘定	38,313	0.1	37,623	0.1	690	1.8
	飲料水供給事業	34,485	0.1	35,558	0.1	△1,073	△ 3.0	
	港湾施設事業	10,211	0.0	10,107	0.0	104	1.0	
	土地取得造成	201	0.0	201	0.0	0	0.0	
	農業集落排水事業	31,847	0.1	22,669	0.0	9,178	40.5	
	温泉事業	15,017	0.0	9,343	0.0	5,674	60.7	
小計 (b)	11,985,305	24.0	11,987,584	23.7	△2,279	△ 0.0		
企業会計	水道事業	2,377,681	4.8	2,848,226	5.6	△470,545	△ 16.5	
	工業用水道事業	34,647	0.1	26,082	0.1	8,565	32.8	
	下水道事業	1,607,188	3.2	1,716,124	3.4	△108,936	△ 6.3	
	病院事業	4,054,105	8.1	4,232,335	8.4	△178,230	△ 4.2	
	小計 (c)	8,073,621	16.2	8,822,767	17.5	△749,146	△ 8.5	
合計 (a) + (b) + (c)	49,928,926	100.0	50,510,351	100.0	△581,425	△ 1.2		

3. 当初予算額の推移

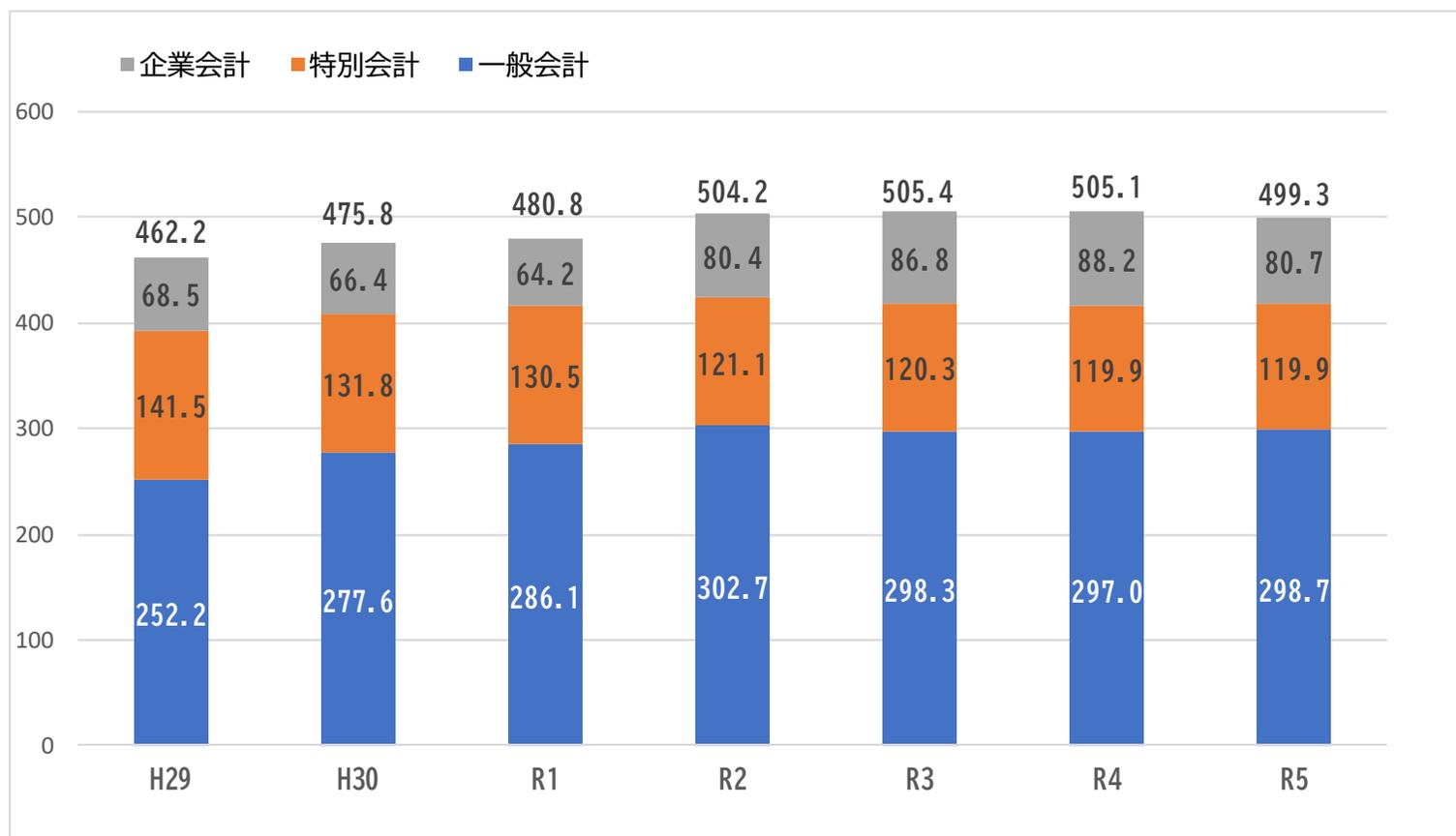
当初予算額の推移は下の表のとおりです。

令和5年度当初予算は、一般会計で298億7千万円となり、平成17年の市町村合併以降では、令和2年度(302億7千万円)に次いで2番目の予算規模となりました。全会計を合わせた予算総額は、499億2,892万6千円(過去4番目の規模)です。



当初予算額の推移

(単位：億円)



4. 一般会計の歳入

Q. 収入（歳入）にはどんなものがあるの？

A. 市税や地方交付税、国・県支出金などの収入（歳入）があります。●が自主財源と呼ばれるものです。



(単位：千円、%)

款 別	令和5年度		令和4年度		増減額 (A) - (B)	増減率 (%)	
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)			
● 市 税	4,292,088	14.4	4,168,631	14.0	123,457	3.0	
地 方 譲 与 税	455,558	1.5	472,558	1.6	△ 17,000	△ 3.6	
利 子 割 交 付 金	8,000	0.0	11,000	0.0	△ 3,000	△ 27.3	
配 当 割 交 付 金	20,500	0.1	12,000	0.1	8,500	70.8	
株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,000	0.1	20,000	0.1	△ 6,000	△ 30.0	
法 人 事 業 税 交 付 金	73,000	0.2	55,000	0.2	18,000	32.7	
地 方 消 費 税 交 付 金	1,080,000	3.6	1,010,000	3.4	70,000	6.9	
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	8,500	0.0	11,800	0.0	△ 3,300	△ 28.0	
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	24,000	0.1	23,000	0.1	1,000	4.3	
地 方 特 例 交 付 金	18,000	0.1	23,500	0.1	△ 5,500	△ 23.4	
地 方 交 付 税	10,628,365	35.6	10,374,441	34.9	253,924	2.4	
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,000	0.0	5,500	0.0	△ 500	△ 9.1	
● 分 担 金 及 び 負 担 金	213,991	0.7	234,646	0.8	△ 20,655	△ 8.8	
● 使 用 料 及 び 手 数 料	468,028	1.6	448,889	1.5	19,139	4.3	
国 庫 支 出 金	3,325,415	11.1	3,831,837	12.9	△ 506,422	△ 13.2	
県 支 出 金	1,571,763	5.3	1,554,333	5.2	17,430	1.1	
● 財 産 収 入	31,501	0.1	60,525	0.2	△ 29,024	△ 48.0	
● 寄 附 金	342,002	1.1	340,002	1.2	2,000	0.6	
● 繰 入 金	1,291,817	4.3	474,624	1.6	817,193	172.2	
● 繰 越 金	2,000,000	6.7	2,000,000	6.7	0	0.0	
● 諸 収 入	578,637	1.9	659,314	2.2	△ 80,677	△ 12.2	
市 債	3,419,835	11.5	3,908,400	13.2	△ 488,565	△ 12.5	
合 計	29,870,000	100.0	29,700,000	100.0	170,000	0.6	
内 訳	● 自 主 財 源	9,218,064	30.8	8,386,631	28.1	831,433	9.9
	依 存 財 源	20,651,936	69.2	21,313,369	71.9	△ 661,433	△ 3.1



4. 一般会計の歳入 (1) 自主財源と依存財源

収入には大きく、自主財源と依存財源があります。自主財源は、市税など大洲市が自主的に調達できるお金です。依存財源は、国や県からもらうお金や市債（借金）のことで。

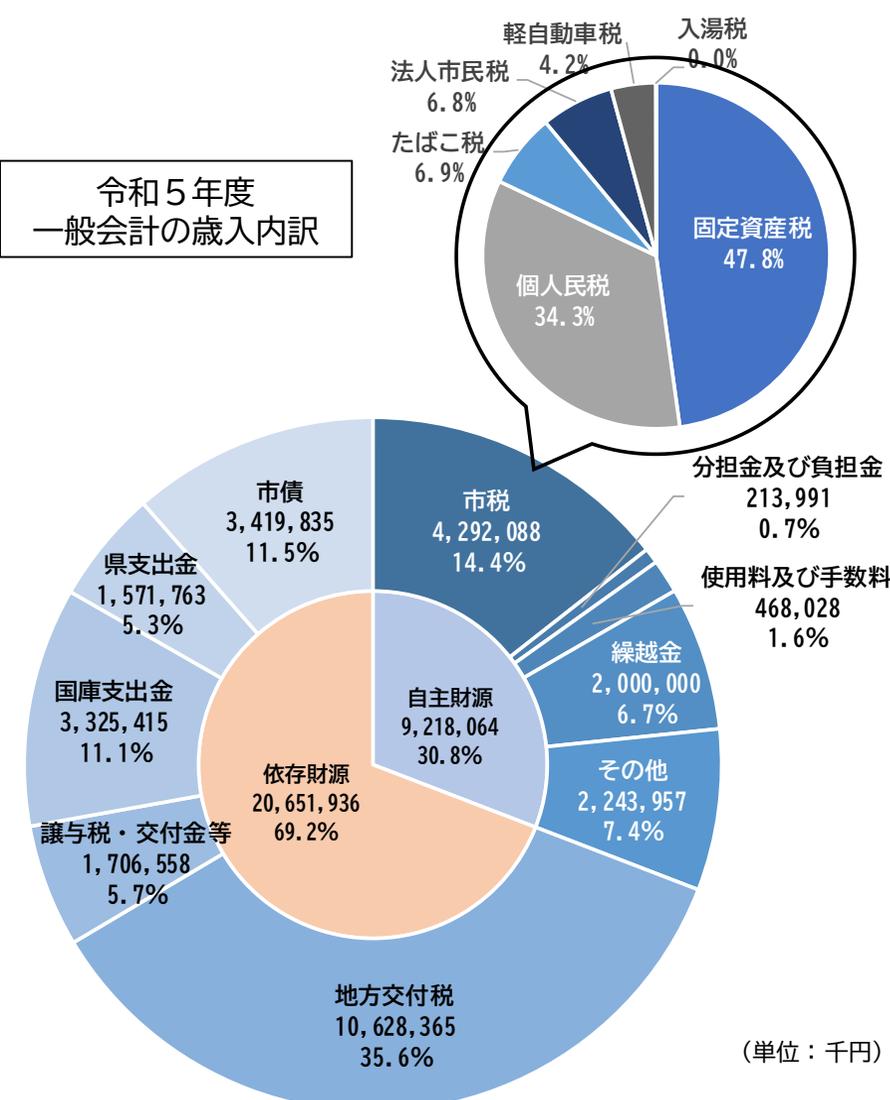
自主財源

- 市税
みなさんから市に納めていただく税金
- 分担金及び負担金
市が行う事業などにより特に利益を受ける人から徴収するお金（保育料や老人ホームの負担金など）
- 使用料及び手数料
公共施設の使用料や住民票の交付手数料など
- 繰越金
前年度から繰越したお金

依存財源

- 地方交付税
全国の市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付されるお金
- 譲与税・交付金等
国税や県税のうち一定の基準によって各市町村に譲与(交付)されるお金
- 国庫(県)支出金
道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国(県)から交付されるお金
- 市債
国や金融機関などから借り入れるお金

令和5年度
一般会計の歳入内訳



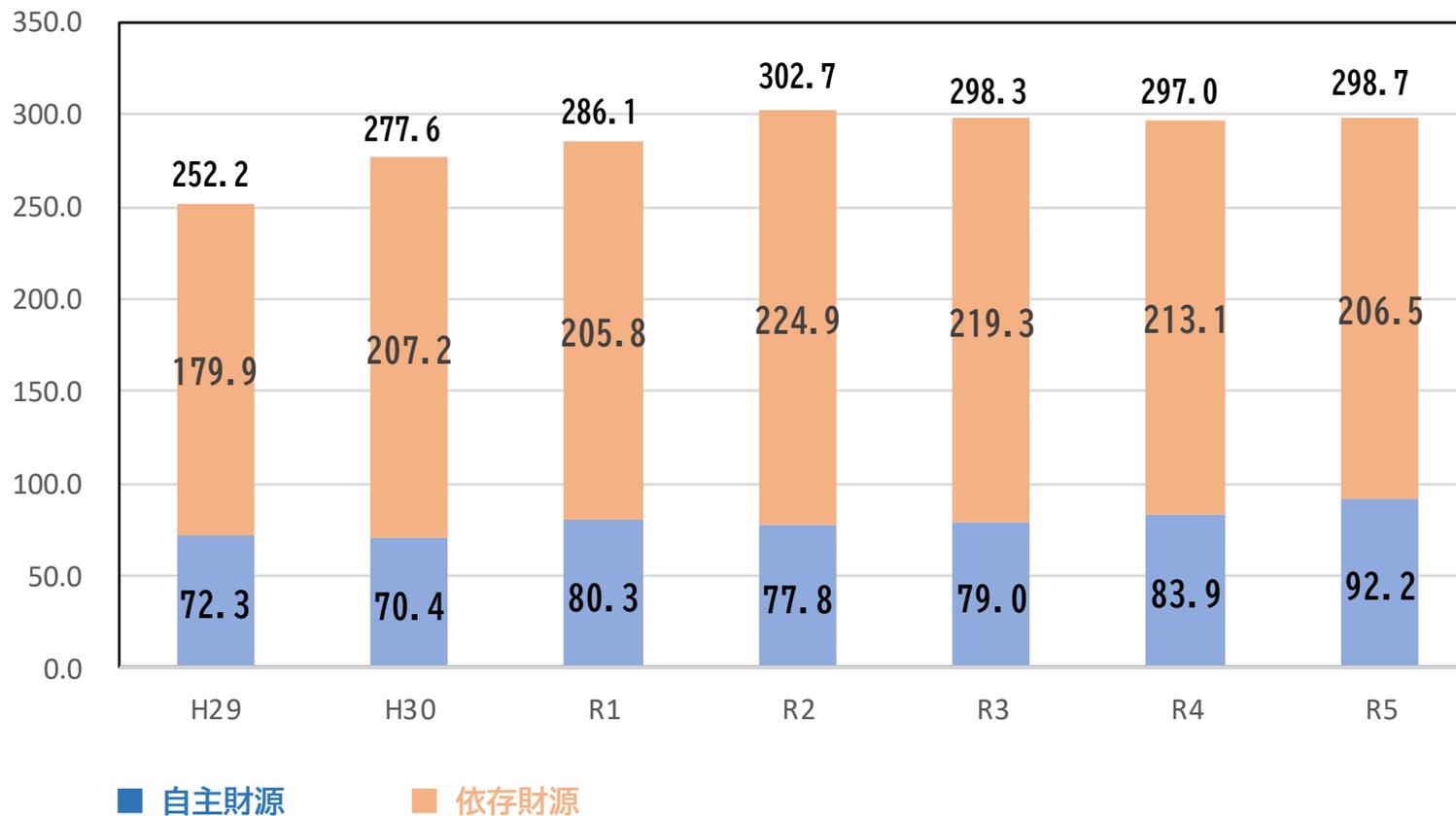
(単位：千円)

4. 一般会計の歳入 (2) 自主財源と依存財源の推移

近年の大洲市では、一般会計の歳入に占める自主財源の割合は約3割で、財源の約7割を国や県からの支出金、地方交付税などに依存していることがわかります。
収入全体に占める自主財源の比率が高いほど、安定的かつ自主的な行政サービスを提供することができます。



(単位：億円)



5. 一般会計の歳出 (1) 目的別

Q. 支出（歳出）にはどんなものがあるの？

A. 支出（歳出）は、議会の運営や、高齢者や児童などの社会福祉サービスに要する経費、道路や公園の維持修繕費、学校教育などに要する経費などの「目的別」に分類すると以下の表となります。



(単位：千円、%)

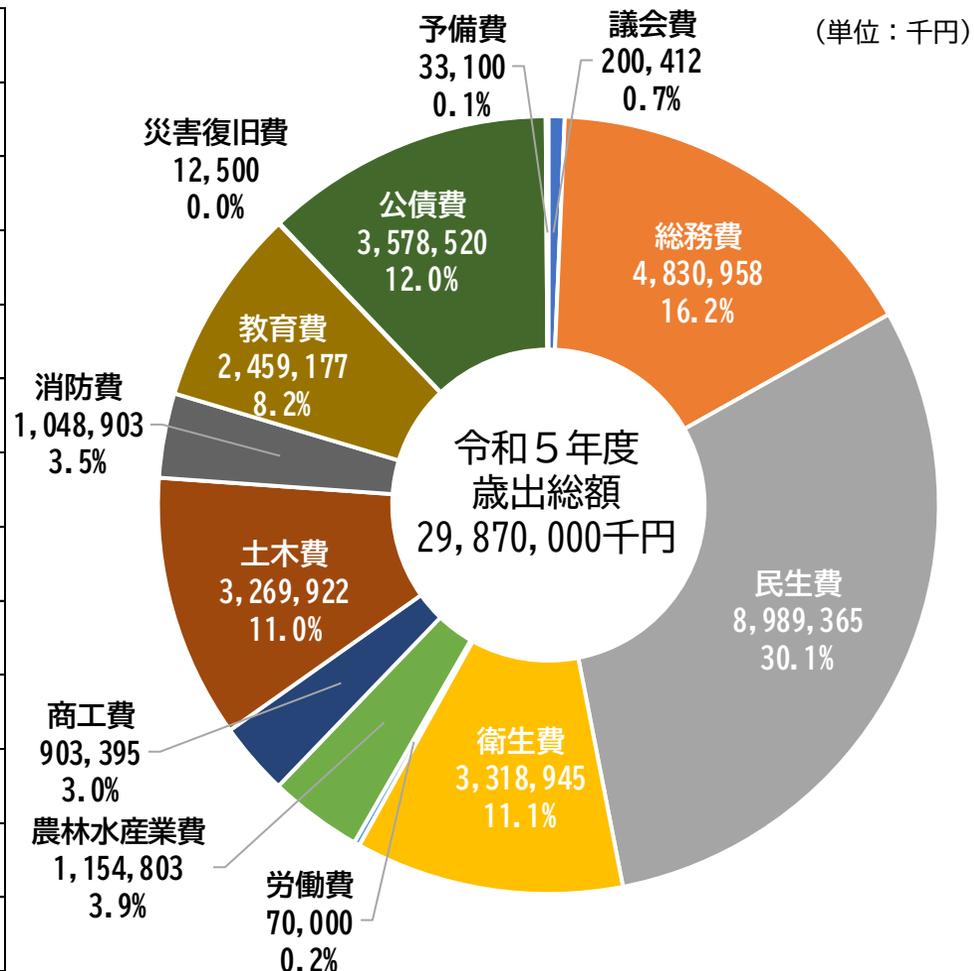
目的別	令和5年度		令和4年度		増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)		
議会費	200,412	0.7	198,782	0.7	1,630	0.8
総務費	4,830,958	16.2	4,525,484	15.2	305,474	6.8
民生費	8,989,365	30.1	8,779,123	29.6	210,242	2.4
衛生費	3,318,945	11.1	2,805,606	9.4	513,339	18.3
労働費	70,000	0.2	70,000	0.2	0	0.0
農林水産業費	1,154,803	3.9	1,104,086	3.7	50,717	4.6
商工費	903,395	3.0	793,802	2.7	109,593	13.8
土木費	3,269,922	11.0	2,994,420	10.1	275,502	9.2
消防費	1,048,903	3.5	1,022,731	3.4	26,172	2.6
教育費	2,459,177	8.2	3,542,472	11.9	△ 1,083,295	△ 30.6
災害復旧費	12,500	0.0	7,169	0.0	5,331	74.4
公債費	3,578,520	12.0	3,823,764	12.9	△ 245,244	△ 6.4
予備費	33,100	0.1	32,561	0.1	539	1.7
合計	29,870,000	100.0	29,700,000	100.0	170,000	0.6



5. 一般会計の歳出 (1) 目的別

目的別とは、「何のために使うのか」という視点で分類したものです。

議会費	市議会運営に要する経費
総務費	市役所の管理や戸籍、税の事務に要する経費
民生費	高齢者や児童などの社会福祉サービスに要する経費
衛生費	健康づくりや環境衛生廃棄物に要する経費
労働費	雇用の促進や勤労者の福祉に要する経費
農林水産業費	農林業や水産業の振興に要する経費
商工費	商工業や観光の振興に要する経費
土木費	道路や公園などの整備、維持管理に要する経費
消防費	消防や防災対策に要する経費
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興に要する経費
災害復旧費	被災復旧に要する経費
公債費	市債(借金)の返済のための経費
予備費	自然災害などの緊急な対応が必要になった場合の経費



5. 一般会計の歳出 (2) 性質別

令和5年度の支出を職員の人件費や児童手当、各種医療費などの扶助費、市債の返済金となる公債費などの「性質別」に分類すると以下の表となります。



(単位：千円、%)

性質別	令和5年度		令和4年度		増減額 (A) - (B)	増減率 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)		
人件費	5,368,288	18.0	5,317,897	17.9	50,391	0.9
物件費	4,129,476	13.8	3,982,875	13.4	146,601	3.7
維持補修費	268,224	0.9	261,627	0.9	6,597	2.5
扶助費	4,388,346	14.7	4,304,232	14.5	84,114	2.0
補助費等	3,835,450	12.8	3,782,090	12.7	53,360	1.4
普通建設事業費	4,551,220	15.2	4,512,019	15.2	39,201	0.9
災害復旧費	12,500	0.0	7,169	0.0	5,331	74.4
公債費	3,578,425	12.0	3,823,569	12.9	△ 245,144	△ 6.4
積立金	923,275	3.1	923,195	3.1	80	0.0
出資金	196,865	0.7	191,779	0.6	5,086	2.7
貸付金	140,200	0.5	140,200	0.5	0	0.0
繰出金	2,444,631	8.2	2,420,787	8.2	23,844	1.0
その他	33,100	0.1	32,561	0.1	539	1.7
合計	29,870,000	100.0	29,700,000	100.0	170,000	0.6

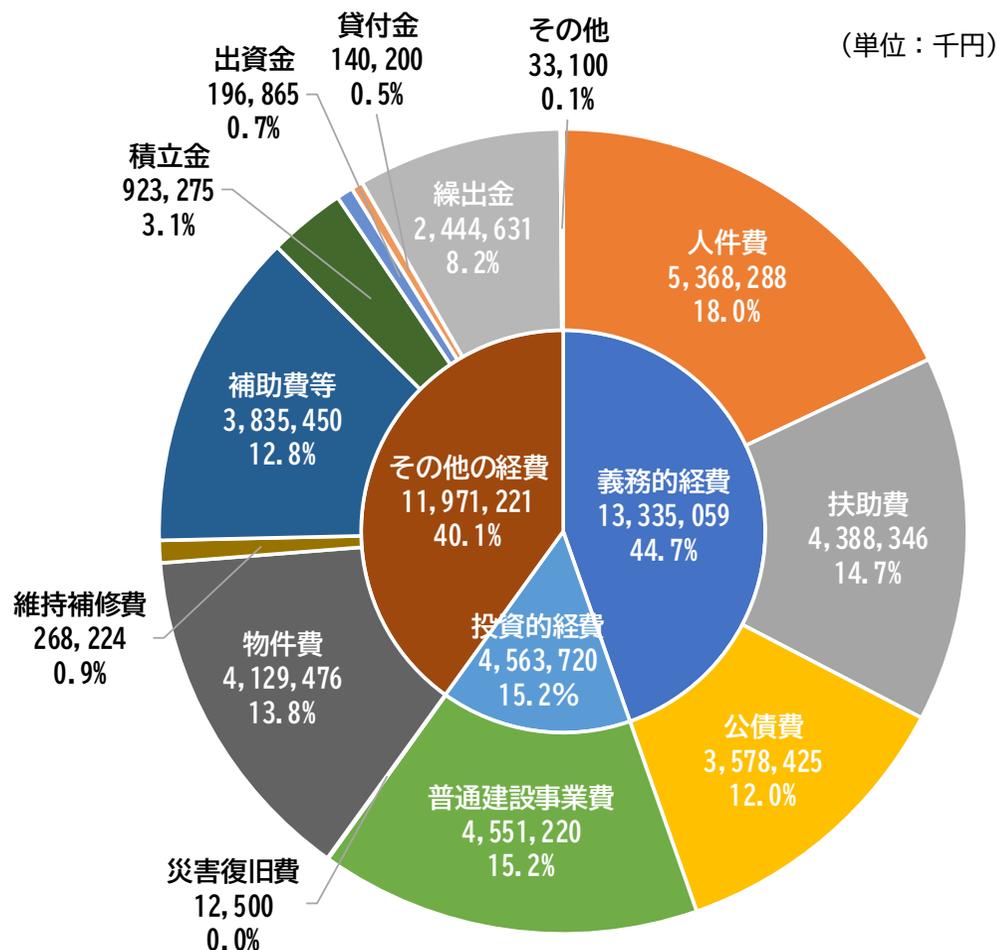
5. 一般会計の歳出 (2) 性質別

性質別とは、「どんなことに使うのか」という視点で分類したものです。
 性質別については、さらに「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」に分類することができます。
 「義務的経費」の割合が大きくなると市が自由に使えるお金が少なくなることを意味しています。



●義務的経費	支払が義務的なもの
人件費	議員の報酬や職員の給料
扶助費	児童手当や乳幼児、重度心身障害者医療費など
公債費	市債(借金)の返済金
●投資的経費	資本形成につながるもの
普通建設事業費	道路や公園、学校など公共施設の建設費
災害復旧費	災害により被災した施設の復旧費
●その他の経費	
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営費など
維持補修費	道路や施設の修繕、維持
補助費等	各種団体などへの補助金や組合への負担金など
積立金	基金(貯金)に積み立てを行うための経費
出資金	公益事業へ支出する経費
貸付金	預託金など直接現金の貸付を行うための経費
繰出金	他の会計へ支出するための経費

令和5年度一般会計当初予算を性質別に分類



6. 令和5年度 大洲市の重点事業（4事業）

Q. 令和5年度は、どんなことをするのか？

A. 令和5年度当初予算では、「DX」「健康」「少子化」「肱川」をキーワードに4つの事業を重点事業として
います。市民のみなさまが健康で心豊かに、安心して暮らすことができ、誰もが幸せを実感できる「Well-being
(ウェルビーイング) なまち」となるよう取り組んでいきます。



①【DX】デジタル化・業務改革

市内全域に整備した高速情報通信基盤やデジタル技術も活用して、市民生活の利便性向上、産業の活性化、業務改革による行政の効率化を図り、デジタルトランスフォーメーションを推進します。



②【健康】健康づくり・健康寿命の延伸

地域医療・健康診査体制の充実を図り、地域の食文化に根差した食育や、スポーツや文化活動の普及促進、生きがいの創出など、生涯にわたって健康な生活を営める環境を整えていきます。



③【少子化】少子化対策・子育て支援

保育や子育てサービスの充実、認定こども園や教育環境の整備、高校生世代までの子ども医療費無償化など、子育て世代が暮らしやすい環境づくりに取り組みます。



④【肱川】治水対策と肱川を活用したまちづくり

安全で安心して住み続けられる地域となるよう流域治水・内水対策に取り組みながら、肱川の美しい自然や景観を生かした公園整備など「肱川を活用したまちづくり」を進めます。



6. 令和5年度 大洲市の重点事業【DX】デジタル化・業務改革〔345,051千円〕

「◎」は新規事業

DX推進事業	32,130千円
ポイント	企画情報課
◎BPR(業務改革)支援業務 委託料・BPR支援ツール使用料	15,786千円
◎オンライン施設予約システム実証実験 オンライン決済手数料・リモートロック設置工事	2,785千円

保育所等ICT化推進事業	6,474千円
ポイント	子育て支援課
◎タブレット集中管理システム導入業務	1,417千円
○保育支援システム運用保守業務	1,914千円
○保育支援システム運用OA機器リース料	2,639千円
◎保育室追加配置タブレットリース料 システムを効果的に運用するため41台を追加	504千円

スマート農業推進モデル事業	5,000千円
ポイント	農林振興課
○スマート農業推進モデル事業補助金 農作業の省力化、農産物の高品質生産を図るスマート農業を推進するため、ICTなど先端技術を活用した環境制御装置などの施設整備に加えて、スマート農業機械導入にも支援を拡大。(補助率1/2,上限150万円) トラクター自動操舵システム,高性能田植機,農業用ドローンなど	5,000千円

官民共創推進拠点施設整備事業	138,792千円
ポイント	商工産業課
◎サテライトオフィス誘致支援業務	3,520千円
◎官民共創推進拠点施設整備工事	52,470千円
◎土地建物購入費 旧伊予銀行大洲本町支店	58,520千円

ICT教育推進経費	14,753千円
ポイント	教育総務課
○ICT支援員の配置	7,214千円
○ICT機器運用保守支援業務	5,940千円
○愛媛新聞forスタディ年間利用料	770千円

情報通信環境整備事業(小・中学校)	59,452千円
ポイント	教育総務課
○教育用コンピュータリース料	40,128千円
○フィルタリングソフトライセンス料	2,968千円
◎授業支援ソフトウェア使用料	2,928千円

そのほかのDX推進 新規・拡充予算	88,450千円
◎コンビニ交付サービス導入事業	7,553千円
○地域イントラネット伝送路切替	24,378千円
◎公式ホームページデザイン改修業務	3,424千円
◎セキュリティ強化用仮想化基盤更改事業	10,692千円
◎オンライン学習教材「スマイルネクストドリル」導入	2,722千円
◎市立図書館フリーWi-Fi設置	535千円



6. 令和5年度 大洲市の重点事業【健康】健康づくり・健康寿命の延伸〔77,984千円〕

「◎」は新規事業

国民健康保険特定健康診査等事業(29,709千円) 拡充 2,000千円

ポイント 保健センター

◎特定健康診査の個人負担を無償化

令和4年度 個人負担額1,000円→令和5年度 0円(検診単価8,486円)

○国民健康保険特定健康診査委託料 (3,125千円)

○特定健康診査負担金 (21,708千円)

愛媛県国民健康保険団体連合会負担金

健康づくり推進事業(5,923千円) 新規・拡充 4,967千円

ポイント 健康増進課

◎健康づくり計画策定業務 3,967千円

第3次大洲市健康づくり計画

○市民のつどい講演会 1,000千円

笑い与健康をテーマに著名な講師による講演会を開催。

食育推進事業(4,626千円) 新規 4,000千円

ポイント 健康増進課

◎食育講演会・料理教室などのイベント開催 4,000千円

食生活を健康づくりにつなげていくために、著名な講師による食育講演会や料理教室、食に関するブースの出展など、「食」の魅力をテーマにしたイベントを開催。

健康増進事業(42,265千円) 拡充 11,295千円

ポイント 保健センター

◎がん検診の個人負担をワンコイン500円に引き下げ(肺がんCTを除く)

○がん検診等委託料 (40,000千円)

負担額を引き下げて早期発見により健康寿命の延伸につなげる。

胃がん1,300円→500円(検診単価6,270円), 前立腺がん2,200円→500円(検診単価2,310円), 子宮頸がん1,000円→500円(検診単価5,610円)など

ねんりんピック推進事業 22,631千円

ポイント 高齢福祉課

○大洲市実行委員会負担金 19,025千円

全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)

会期: 令和5年10月28日~31日

大洲市開催競技: ソフトテニス交流大会

会場: 八幡浜・大洲地区運動公園, 晴海ふれあいパーク, 鹿鳴園

ええモンリレーマラソン大会事業 650千円

ポイント 文化スポーツ課

◎ええモンリレーマラソン大会開催経費 650千円

スポーツに親しむ人を増やし市民の健康増進につなげるため、肱北緑地公園を会場に家族や仲間で結成したチームが力を合わせて走る「ええモンリレーマラソン大会」を開催。

ええモンセレクション試食コーナー, 表彰, 参加賞など

そのほかの健康づくり 新規・拡充予算 32,441千円

◎心電図を特定健診以外の検査項目に追加 2,860千円

◎ふれあいパーク外環境整備工事 1,000千円

散歩やジョギングを促す距離数や矢印を路面に表示。

◎晴海ふれあいパークテニスコート改修工事 27,749千円

ねんりんピック: ソフトテニス会場



6. 令和5年度 大洲市の重点事業【少子化】少子化対策・子育て支援〔239,992千円〕

「◎」は新規事業

子ども医療費(169,194千円) 新規 23,000千円

ポイント 市民課

- ◎高校生世代 通院・入院医療費助成 23,000千円
子ども医療費の無償化を高校生世代まで拡充。
- 児童医療費(小中学生) 通院・入院医療費助成 (73,987千円)
- 乳幼児医療費 (72,207千円)

三善・八多喜地区認定こども園施設整備事業 43,723千円

ポイント 子育て支援課

- ◎新築工事設計業務 13,649千円
基本設計及び実施設計
- ◎認定こども園用地造成工事 30,074千円
三善保育所、栗津保育所を統合した認定こども園を整備。

徳森認定こども園施設整備事業 89,703千円

ポイント 子育て支援課

- ◎新築工事設計業務 22,393千円
基本設計及び実施設計
- ◎建設用地購入 67,310千円
2,421.34㎡ (土地開発基金で取得済)

放課後児童健全育成事業(123,337千円) 新規・拡充 2,709千円

ポイント 生涯学習課

- ◎喜多児童クラブ3(新規開設)改修工事, 備品整備 1,829千円
喜多小学校の2階図書室を活用して定員を45名増加。
- 職員報酬・期末手当(支援員) (95,983千円)
定員増加により常勤支援員を7名増員(計48名)。
15児童クラブ, 令和5年度定員 544名

出産・子育て応援交付金事業 24,842千円

ポイント 保健センター

- 出産準備交付金 11,500千円
- 子育て応援交付金 11,500千円
妊娠届出や出産届出を行った妊婦等への伴走型相談支援と出産育児関連用品の購入費助成など経済的支援を一体的に実施。
(出産準備交付金5万円+子育て支援交付金5万円)×230人

児童生徒用木製机椅子整備事業 24,300千円

ポイント 教育総務課

- ◎木製机椅子製作業務 24,000千円
森林環境譲与税基金を活用し、市産材を活用した机椅子を整備することで学習環境の改善、木育環境教育を推進。
令和5年度 300セット製作

そのほかの少子化・子育て支援 新規・拡充予算 31,715千円

- 移住定住支援事業費補助金(結婚新生活支援) 6,600千円
- ◎総合福祉センターベビーシート, ベビーチェア設置 1,235千円
- 保育所・認定こども園の修繕, 改修工事など 14,084千円
- ◎発達障がい児家族等支援事業 2,367千円
- ◎新谷公園・富士山公園修繕・改修工事 3,300千円
- ◎子ども・子育て支援事業計画策定(債務負担行為) 4,257千円



6. 令和5年度 大洲市の重点事業【肱川】治水対策と肱川を活用したまちづくり【165,731千円】

「◎」は新規事業

流域治水対策推進事業 2,135千円

ポイント 農山漁村整備課

- ◎田んぼダム実証実験に伴う堰板購入など 1,429千円
 - ◎堰板設置実証実験協力金 300千円
- 水田やため池などが持つ多面的な機能を発揮させ、流域治水を推進するために水田貯留（田んぼダム）の実証実験を実施。

うかい観光活性化事業(20,394千円) 拡充 4,000千円

ポイント 観光まちづくり課

- うかい文化保存継承事業補助金 (10,924千円)
- うかい観光振興事業補助金 (9,470千円)
 - ◎屋形船の新造船（1隻）に補助（補助率4/5）
 - 年1隻造船で5年間で5隻増加計画

観光資源開発・観光商品化事業(6,373千円) 新規 4,450千円

ポイント 観光まちづくり課

- ◎肱川お舟めぐり実証実験業務 4,450千円
 - 定期観光船の運航（4月1日～11月20日）
- カヌー観光事業化業務 (300千円)
- 肱川あらし観光資源開発事業補助金 (1,549千円)

肱川減災対策事業(24,564千円) 新規 14,724千円

ポイント 治水課

- ◎内水対策工事設計業務 11,500千円
 - 新谷地区、西大洲地区、玉川地区、梁瀬地区
- ◎西大洲地区内水対策工事 2,500千円
 - 水路改修、流下阻害物撤去

海洋ごみ発生抑制対策事業 1,500千円

ポイント 環境生活課

- ◎海洋ごみ啓発イベント支援業務 850千円
 - ◎啓発パネル作製 250千円
- 海洋ごみの発生源の一つである内陸からのごみを抑制するために、啓発イベントを開催。

まちづくり推進事業(130,475千円) 新規・拡充 100,780千円

ポイント 都市整備課

- 肱川眺望広場整備事業 38,280千円
 - 不動産鑑定評価、用地取得
- ◎肱川緑地公園整備事業測量設計業務 6,500千円
- かわまちづくり整備事業 56,000千円
 - 肱川橋上流左岸フットパス照明設置

そのほかの治水対策・肱川の活用 新規・拡充予算 38,142千円

- ◎臥龍山荘不老庵ライトアップ機器更新工事 3,342千円
- ◎市道只越線道路改良工事 25,000千円
- ◎小倉地区用悪水路改修工事 1,300千円
- ◎只越川河川改修工事 8,500千円



6. 令和5年度 そのほかの主な事業

「◎」は新規事業

長浜港内港埋立事業	41,900千円
ポイント	企画情報課
◎長浜港内港埋立事業基本計画策定業務	16,000千円
◎長浜港内港利用者事業継続方策検討業務	25,278千円
埋立申請に向けた計画策定と内港利用者の移転、企業留置対策を検討。	

災害復興支援事業	100,679千円
ポイント	肱川支所・復興支援課・都市整備課
◎鹿野川地区復興広場整備工事	35,000千円
○大川地区復興支援事業	63,206千円
防災広場整備工事	

肱川地区複合公共施設整備事業	449,356千円
ポイント	復興支援課
○肱川地区複合公共施設新築工事/工事監理業務	338,140千円
◎肱川地区防災広場整備工事/工事監理業務	111,000千円
支所、公民館、図書館分館の完成後、現支所を解体し防災広場を整備。	

市民文化会館建設事業	102,782千円
ポイント	財政契約課
◎市民文化会館基本設計業務	72,800千円
◎地質調査業務	18,643千円
◎物件調査等業務	2,021千円

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業	34,500千円
ポイント	環境生活課
◎地域エネルギービジョン策定支援業務	33,165千円
脱炭素社会の実現に向けて、様々なエネルギーに対する理解を深め、持続的、自立的な地域発展につなげる地域エネルギービジョンを策定。	

水産業振興費（長浜港小型船だまり整備）	113,208千円
ポイント	農山漁村整備課
◎長浜港漁具倉庫新築工事/工事監理業務	85,558千円
◎長浜港蓄養施設設計及び地質調査業務	11,462千円
◎長浜港小型船だまり船舶移転給付金	14,400千円

その他の新規・拡充事業など	
◎障がい者等計画策定業務	3,515千円
○猫不妊去勢手術補助金	1,000千円
◎再生可能エネルギー設置可能性調査業務	9,977千円
◎環境センター基幹的設備改良工事	400,000千円
○いきいき大洲農業農村活性化事業費補助金	93,500千円
○水利施設等保全高度化事業	8,059千円
○森林経営管理事業	163,443千円
◎小規模林業事業への補助金追加	
○鹿野川荘施設改修事業	15,015千円
○交付金道路整備事業（父橋更新事業、橋梁点検など）	787,832千円
○山鳥坂ダム地域振興基金事業	8,329千円
下鹿野川集会所倉庫、上嵯峨谷集会所側溝、高森城址休憩所など	
◎長浜岸壁改修工事	14,784千円
◎動線環境整備事業（石畳風舗装）	65,100千円
○消防施設整備事業（消防詰所の改築など）	56,424千円
○大洲南中学校長寿命化改修事業	33,498千円
◎上須戒公民館建設事業	495千円
◎地域交流センター建設事業	93,515千円



8.市債（借金）について

Q. どうして借金をするの？

A. 限られた収入の中で施設整備や福祉サービスなど様々な事業を行わなければならないため、道路や学校などの施設を作るときなど、一度に多くのお金が必要となる際には、借入を活用しています。このように、市が借り入れする借金のことを「市債」といいます。

市債には、将来、その施設等を使うこととなる後世代と現世代のみなさんとの間で住民負担の公平のための調整機能が備わっています。



例) 20年間使える施設を1億円で建設する場合

①借入を行わない場合

1年目の市税などの財源のみで施設整備を行うことにより1年目の負担が大きくなる。



②借入を行う場合

返済期間（20年間）でそれぞれの年度の市税などを財源に借入金の返済を行うので1年目の負担が少なくなります。ただし、将来への負担は増えることとなります。



令和5年2月に完成した肱川中学校

なお、大洲市では、借入れた市債の返済額について、国からの地方交付税措置がある（返済に対する国の支援がある）事業債を活用することで、将来負担を軽減させています。

市債の返済額の概ね半分は、翌年度以降に国から地方交付税として収入（歳入）となります。



8. 市債（借金）について

Q. 大洲市にはどのくらい借金があるの？

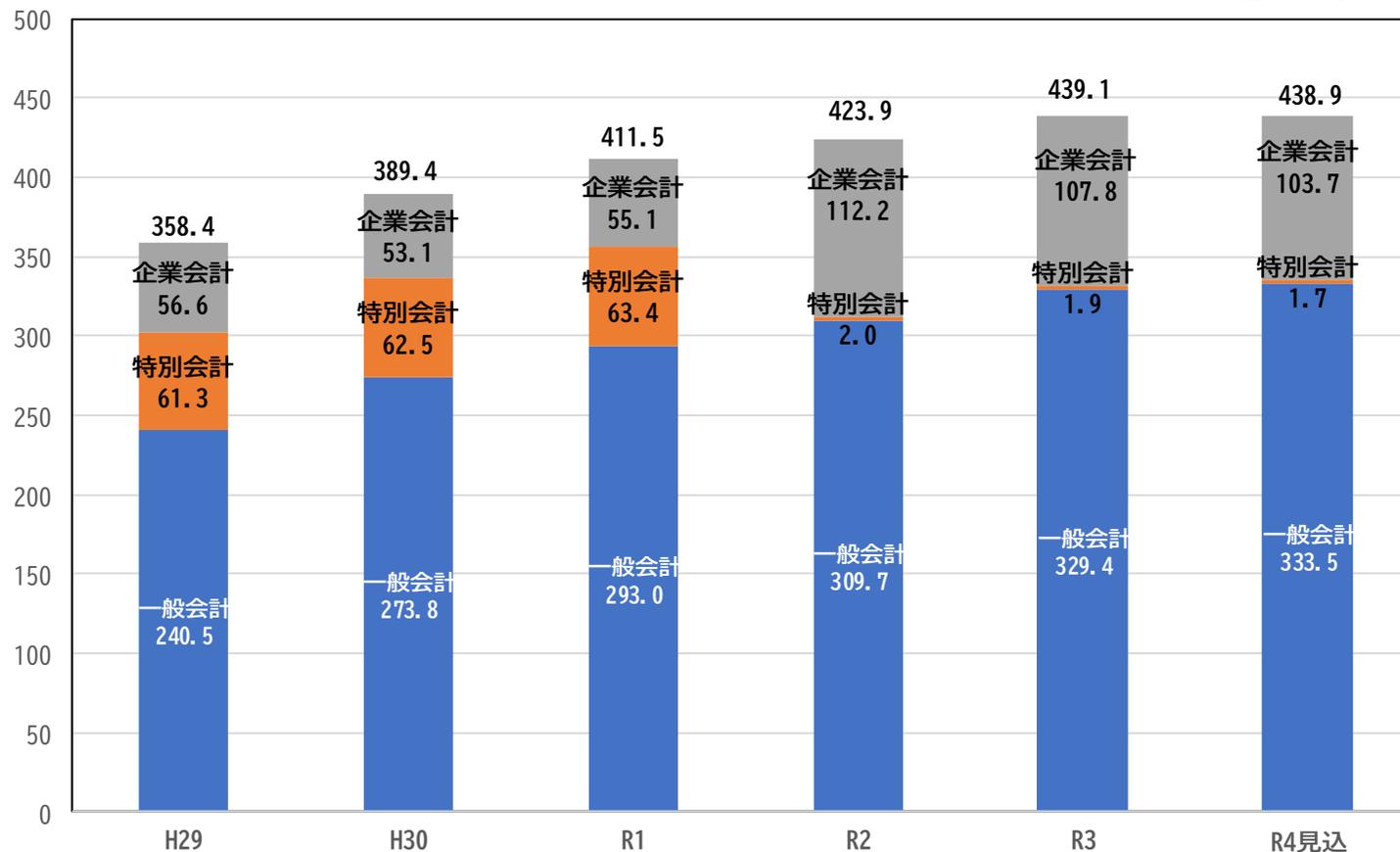
A. 令和3年決算での市債残高は、一般会計329億4,185万4千円、特別会計1億8,561万5千円、企業会計107億8,421万1千円、合計439億1,168万円となっています。

市債は、道路や学校などを整備するために国や金融機関から借り入れるお金です。平成30年度以降は、大規模災害からの復旧工事や学校施設の建設工事等が集中したため、残高が増加しています。



市債（借金）残高の推移

(単位：億円)



8. 市債（借金）について

Q. 大洲市の借金は一人名あたりどのくらいあるの？

A. 令和4年の市債残高見込み額438億9,294万円を、大洲市の人口40,255人（令和5年3月31日時点）で割ると一人名あたり1,090,372円となります。

なお、市債の返済には、受益者が負担する利用料や制度により国から地方交付税が措置されるものがあります。これらの借金返済に充てる財源を除いたものが、実質的な市債負担額となり、令和3年度決算では、市債残高439億1千万円のうち、実質的な市の負担額は100億4千万円となります。大洲市の人口40,948人（令和4年3月31日時点）で割ると、一人名あたりの実質的な負担額は245,302円となります。



○市債借入を活用した事例（令和3年度 補助災害復旧事業）

災害により崩れた市道



市債借入を活用し復旧した市道



9. 基金（預金）について

基金とは、大洲市の預金のことです。

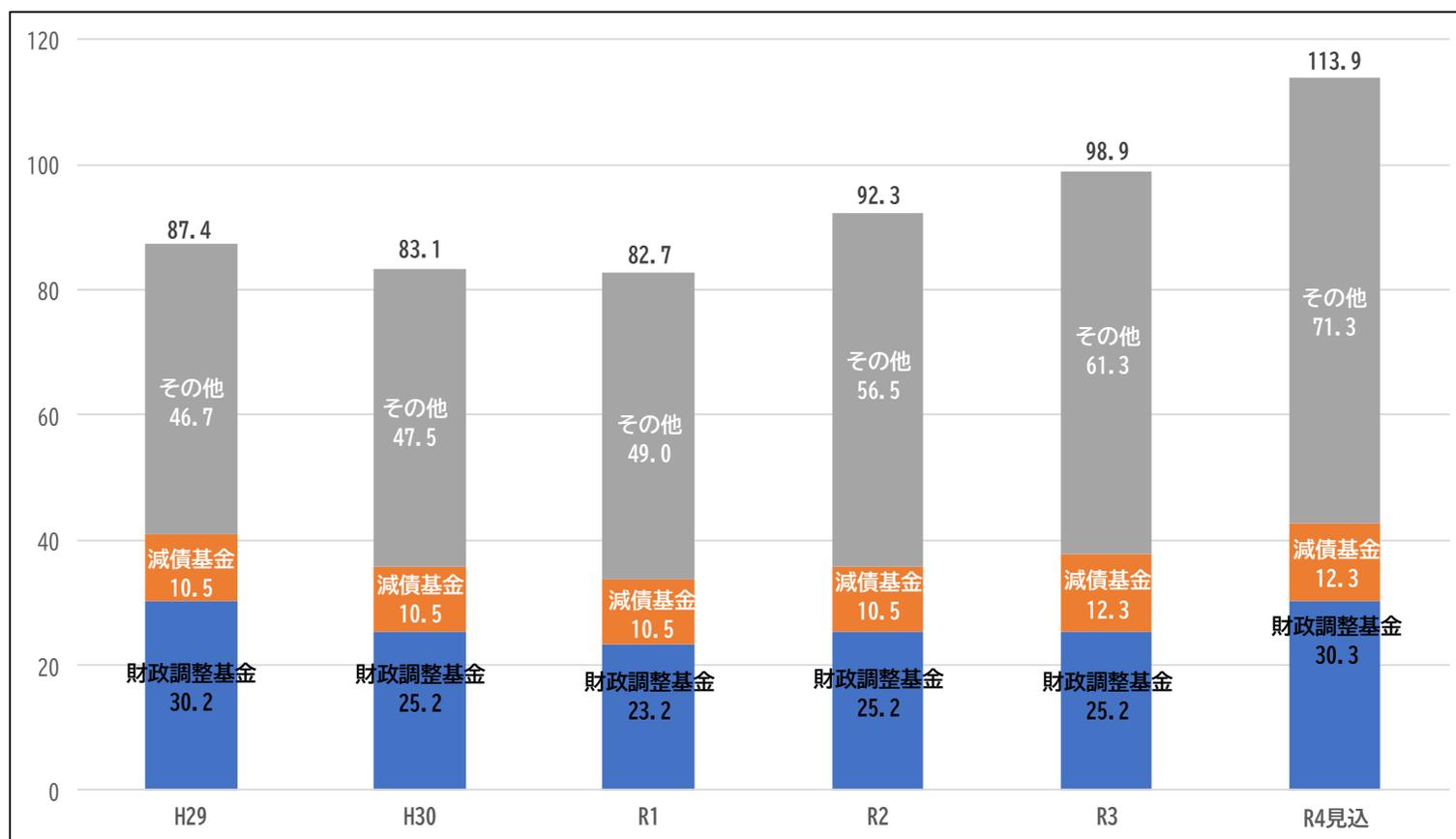
財政調整基金は不況で収入が減ったり、施設整備で多くの費用が必要になったりする年度毎の変化に対応するために、減債基金は市債(借金)の返済に充てるために、その他の基金は特定の事業を行うために積立しているお金です。一般会計のほか、介護保険事業の運営など特別会計の基金も含まれています。

令和4年度決算見込では、113億8,641万7千円の基金があり、大洲市の人口40,255人（令和5年3月31日時点）で割ると市民一人あたりでは、282,857円の預金があることとなります。



基金（預金）残高の推移

(単位：億円)





10. 健全化判断比率

Q. 大洲市の財政状況は大丈夫？

A. 市町村毎に収入や支出の内容が異なっているなかで、全国統一の指標で財政情報を比較できる「健全化判断比率」という指標があります。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの財政指標の総称で、いずれかの指標が基準以上になると財政健全化団体又は財政再建団体（※）になります。大洲市は、いずれの比率も基準内にありますので、健全財政を維持していると言えます。

（※）財政再建団体とは、国の指導の下、公共施設の廃止や使用料の引き上げ、不要・不急の事業の廃止、職員の削減、給与引き下げなど財政の立て直しを行う団体のこと。

【健全化判断比率】

指標	令和3年度	基準	
	(前年度)	早期健全化	財政再生
実質赤字比率	- (-)	12.73%	20.0%
連結実質赤字比率	- (-)	17.73%	30.0%
実質公債費比率	7.1% (7.1%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	41.5% (41.7%)	350.0%	

※「-」は赤字額がないことを示します。

【実質公債費比率】

1年間に大洲市が自由に使えるお金(一般財源)が市債の返済にどのくらい充てられているかを示す指標です。大洲市の令和3年度の実質公債費比率は7.1%となり、一般財源の7.1%が市債の返済に充てられていることを示しています。

早期健全化基準の25.0%がイエローカード、35.0%になるとレッドカードが出され、財政再生団体になります。

【将来負担比率】

借入金の返済額を除いて、1年間に大洲市が自由に使えるお金(一般財源)に対して、実質的な負債がどのくらいあるかを示す指標です。大洲市の令和3年度の将来負担比率は41.5%となり、一般財源の規模に対して41.5%の負債があることを示しています。将来負担比率は350%未満が望ましいとされている指標です。

【参考：令和3年度】	全国平均	県内市町平均
実質公債費比率：	7.1%	7.4% (全国26位)
将来負担比率：	24.6%	30.5% (全国29位)

1.1. 令和5年度 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

地方消費税交付金のうち、平成26年4月1日より5%から8%、令和元年10月1日より8%から10%に消費税率が引き上げられたことに伴う増収分については、社会保障施策（社会福祉、社会保険、保健衛生に関する施策）に要する経費に充てるものとされています。

令和5年度における地方消費税交付金の増収分については、次の社会福祉事業や保健衛生事業に必要な経費の一般財源の一部に充当しています。

（歳入）地方消費税交付金（社会保障財源化分） 5億8,909万1千円

（歳出）社会保障施策に要する経費 71億1,672万6千円

（単位：千円）

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源	うち引上げ分の 地方消費税 (社会保障財源化分)	
		国庫支出金	県支出金	その他			
社会福祉	障害者福祉事業	1,586,602	703,142	407,661	43,871	431,928	62,715
	高齢者福祉事業	158,748			42,110	116,638	16,936
	児童福祉事業	2,066,539	366,240	216,276	177,143	1,306,880	189,756
	母子父子福祉事業	46,610	2,040	21,444	1,000	22,126	3,213
	生活保護扶助事業	698,332	523,749	22,517		152,066	22,080
	総合福祉施設運営事業	44,262			1	44,261	6,427
	社会福祉団体運営補助	76,292				76,292	11,077
	小計	4,677,385	1,595,171	667,898	264,125	2,150,191	312,204
社会保険	介護保険事業	789,403	44,075	22,037		723,291	105,020
	国民健康保険事業	294,884	50,405	170,758		73,721	10,704
	小計	1,084,287	94,480	192,795		797,012	115,724
保健衛生	高齢者医療事業	875,833		153,271		722,562	104,914
	感染症予防事業	165,917	1,370			164,547	23,892
	健康増進事業	188,178	19,732	9,097	47,710	111,639	16,210
	診療所運営事業	21,943			13,404	8,539	1,240
	保健師設置費	103,183			514	102,669	14,907
	小計	1,355,054	21,102	162,368	61,628	1,109,956	161,163
合計	7,116,726	1,710,753	1,023,061	325,753	4,057,159	589,091	